

第 262 回月例情報市場

2025.11.19 ふれあい福祉センター4階会議室

活動紹介

情報市場の第 262 回会議が開催され、多様な参加者が集まり、各自の活動報告と情報共有が行われました。



曲渕さんは「長野の子ども白書」の編集委員。冊子からデジタル化に変更し活動している。QR コードから note での記事閲覧が可能。

11月29日（土）2025 長野の子ども白書ミートアップ～執筆者と読者の集い～

12月4日（木）ヤングケアラーのことをみんなで学ぶ研修会について紹介がありました。

小田切さんは、12月7日（日）「いのちと共に生きること」～救急現場かと願いからみえたもの～としてご自身が講演会を開催される予定で、元消防士としての経験を活かしたカウンセラーの立場から生命の大切さについての講演されます。

松沢さんは、吉田地区でのボッチャ活動について詳細な報告がありました。4色のボールを使用しオリジナルのルールの紹介、大会参加、学校のクラブ活動でボッチャをとり入れてもらったり多岐にわたる活動を紹介されました。特に、2028年のやまなみ国体に向けた展望についても語られました。

事務局の倉石から、緊急時における子ども支援ネットワークの取り組みと、全国初のコーディネーター養成研修について紹介し、長野市では行政、社協と連携した支援体制の構築が進められています。

12月20日には、長野市ボランティア連絡協議会主催のボランティア活動市民会議の開催があり、ボランティア活動に重要な活動拠点として、公共施設の活用について行政職員と共に考えます。

トピック

先月から参加していただいている元消防士のカウンセラーの方のお話から、身近な方の死だったり、終末期のかかわりなどについても話題になりました。

無理に励ましたり、病状について根掘り葉掘り聞き出そうとせず、何気ない会話や顔を見せることでとても勇気づけられるし、気軽に来てくれるとうれしいんだろうなと思いました。

【物品提供情報】

提供元：大豆島地区住民自治協議会

物 品：幅3センチ、長さ144cmのタスキ80本（写真参照）



次回の情報市場は、

12月17日（水）16時～17時　ふれあい福祉センター4階会議室
お待ちしています！